

地域密着型サービス自己評価票

- ・ 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- ・ 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 20年 8月 15日
事業所名	しんさかえケアセンターそよ風 こもれび
事業所番号	第 2372001384
記入者名	職名管理者 氏名 高橋みはる
連絡先電話番号	0532-34-7351

(様式1)

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	GH独自の理念、毎日の生活を大切に笑顔がひとつでも増えますようにを合言葉に一日を家庭的で落ち着いた雰囲気の中地域の方々と接していただいている。	○	理念を職員がいつも頭に置き介護するよう指導し、外出の機会を増やし地域の方々と今以上に密にしていきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月の会議で理念を復唱し高齢者社会で果たせる役割の重大性を自覚し取り組んでいる。日々楽しく過ごせるように利用者様の楽しめる事を見つけ、残された時間が輝ける日々であったと感じて頂けるような良質のサービスを介護のチームプレーで提供している。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進委員会を定期的開催しご家族や地域の方々へ利用者様の生活や行事をお知らせし話し合いを持ち意見交換している。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩、買い物など外出した時はすすんで挨拶をし当施設のPR に 努めている。	○	散歩などしていると進んで話し掛けていただける人の多さにびっくりする。今以上に地域の方々に立ち寄って頂けるよう考え、日常的な付き合いを増やしていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお祭りに参加して交流を深め、当施設を提供し老人会をして頂いている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	会議などで話し合い老人会などと密にし、暮らしで役立つ事をお聞きしている。	○	高齢者社会の中で役立つ事を具体的に話し合い一つ一つ頑張っていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	介護に対する姿勢を見直し外部より評価してもらうことにより気づかないことの指摘を受けることの意義を理解し、与えられた役割を認識し、自分の守備範囲の中で全力を尽くしている。	○	職員各自が外部評価の結果を理解し利用者様にとって何が大切か再認識させている。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方々、自治会、老人会、ご家族の方々に定期的に参加して頂き、活発な意見交換をして頂き現場に活かしている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月、地域の生活相談員の方に来て頂きお話を聞きサービスの向上に取り組んでいる。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際に活用されている利用者様がいる。今後も必要と思われる方に対しては、その背景までよく見定め、関係機関と話し合って活用し支援していく。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルをいつも目に付くところに置き確認し会議時に勉強会をしている。虐待を見逃さないように管理者、リーダー、また職員間でも注意を払っている。今後も継続し防止を徹底していく。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご本人の納得を得られ無い場合が多いが、ご家族が納得されるまで丁寧に説明し納得して頂いた上で契約を結び、解約をして頂いている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の意見は市の相談員の定期的の訪問時に言ってもらえる機会があるが、職員が日常の会話の中で意見、不満、苦情を感じ取り、その対応について職員で話し合っている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	変化があった場合、その都度ご家族に連絡しお伝えし、運営推進委員会、家族面談、訪問時などにも報告している。毎月、そよ風新聞を各階ごとに発行してお伝えしている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進委員会、家族面談などでご家族の意見は積極的に出ている。それに対する答えもしている。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議、申し送り、ミーティングなどで話し合いの場をもうけ意見交換し反映させている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の理解がある為、ご家族との関係を密にして意見、要望を把握し勤務の調整ができ、必要な時間帯に職員を確保している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	働きやすい環境作りに努め離職者ができるだけないよう努めて努力している。この一年は離職者が少なく安定している。		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症介護実務者研修への順次受講し、法人内の研修にも参加をさせている。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は交流する機会を持っているが職員はなかなか持てない。	○	他の施設と交流し勉強会や相互に施設を訪問する機会を少しずつ持ち始めている。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者は職員一人一人の勤務態度、状況を把握し困っていることや悩みなど職員側からも聞きやすいようしている。また、年に数回親睦会を行っている。常に職員が休暇を取れるように人員確保している。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	努力や実績、勤務状況により昇進の機会が有る。今後も勉強会、研修を受け新しい刺激を受け向上心を高め、サービスの向上をしていく。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	実地調査をし、本人・家族から良く話を聞き、本人・家族の希望や不安、求めていることなどを理解する取り組みをしている。信頼関係を築き、早く慣れていただくように努力している。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	実地調査をし、事前に話し合いを持ち、ご家族が困っていること、不安なこと、求めていることなどを良く聞くことにより、本人と家族が安心して頂いている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実地調査で、何が必要かを考え、当施設入所だけを考ず、その時必要な支援を第一に考える様になっている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の理解ができない場合が多く、納得した上でサービスは、なかなか難しい。入所後に、他の利用者や場の雰囲気に徐々に馴染めるように家族などと相談しながら工夫している。当施設は、デイサービス利用者がグループホーム利用となる方が多く、デイサービス利用の段階からグループホームを訪問していただくなどしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員全員が、一方的な支援にならないように、グループホームを生活の場と考え、一人一人に合わせ、嫁と舅姑、親子、友人などという関係を想定して接することが多い。	○ 利用者の持っている能力や、生活歴に学ぶことは多いので、個性や興味の有るもの得意なものを見つけ出し、職員も学ぶ姿勢を持つようにしたい。1対1のコミュニケーションの機会を増やすことで、関係の向上を図っている。、

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	できるだけ、関わっていただくように家族への声掛けをして、事業者と家族との情報交換をしている。そして、職員が何もかもをするのが当たり前というようにならないようにしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	生活歴や家族関係など、聞ける情報は出来るだけお聞きし、ご家族と利用者の関係をよりよいものにしていく為に、支援している。家族関係がよくない家族も、出きるだけ、面会の機会を作ったり、面会時は職員が間に入り、日常の生活の報告をしたりして、穏やかに話ができるようにしている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの人や場所を本人から正確な情報を得ることが難しいが、できるだけ聞き出し、ご家族の情報もあわせ、継続できるようにしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	できるだけ、利用者同士の関係を把握し、利用者同士が関わりあえるように、一緒に物事をしたり、一緒に話したりしている。しかし、ごく一部の利用者同士しか、利用者同士の係わりを持つところまで行っていない。	○	今後も、今まで以上に利用者同士の関係を把握するようにしていく。その上で、利用者同士が関わり合い、支えあえるように援助していきたい。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今まで、継続的なかわりが必要な利用者はいなかったが、退去後も立ち寄って頂いている。	○	今後、かわりが必要な利用者があれば、関係を断ち切ることなく係わっていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	良く話を聞く事により、思いや希望をは把握することに努めている。何より本人の意向に沿ったケアをすることに努めている。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	独居だったり、家族との交流があまり無かったりして、なかなかこれまでの暮らしを把握することは難しいが、センター方式を使い、少しずつではあるが、これまでの暮らしの把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の業務報告書等を各職員が見たり報告したり、カンファレンスをする事により、現状の把握をして、支援に生かしている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	管理者、ケアマネは、ご家族の希望をお聞きしたり、カンファレンスをする事により、現状の把握をし、関係者の意見を反映した介護計画を作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しを行い、日々の生活の中で、各職員が気づいたことについては報告させ、変化が生じた場合には、話し合いの上、新たな介護計画を作成している。入院の際など、医師を交えてカンファレンスをしたいが、医師とはなかなか話が出来ずサマリーのみで計画を作成している。	○ 変化があったときは、必要な関係者で話し合い、計画を作成するようにしている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常的なケアの記録は、個別のファイルにし、職員の交代時には、必ず引き継ぐようにして、情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービスの利用者が、状態によって、グループホームへの利用となることがある。グループの利用者が、デイのフロアに遊びに行く、また、その反対のことも有る、など施設内で、柔軟に行き来している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的に相談員の訪問があり、ボランティアで、歌など聞かせて頂いている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	していない。	○	何ができるのか、考えていきたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要な時はしているが、通常はしていない。	○	どんなことで協働できるのか検討していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	自宅からの住み替えの際は、十分に本人、家族との話し合いを持ち、出きるだけ、本人の納得の行く入所とするように努めている。グループホームから別の居所へ移り住む場合も、一番適切な場所を探し、情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている。	○	ほとんどが、当施設からの住み替えは、入院の場合がほとんどである。その場合、引継ぎに必要な情報はできるだけ伝えるようにしている。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、一人一人の誇りやプライバシーを損ねるような言葉掛けや対応をしないように職員一人一人が気をつけている。記録などの個人情報は持ち出したりせず、送付なども細心の注意を払っている。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	思いや希望を表せるように、常に、話しやすい雰囲気作りに努め、希望や思いがわかったらできるだけ自分で決めたり納得したりされるように職員が支援していくように努めている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	簡単なスケジュールがあり、それに沿って過ごしていただいているが、その他の時間は自由に過ごしていただいている。本人の希望があればできるだけ希望の行動ができるように支援している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご家族の協力のもと美容院など行けるようにしたり行けない人は施設に理容師が月一回きて利用して頂いている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物は一緒に出かけ食材を選んでいただき好物の提供し食事作り片付けなど一緒にしている。食事の準備配膳などその方の出来ることをお願いしている。		
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	季節の食材を使い一人ひとりの状況に合わせて好物の提供外食も楽しみにされている。月二回ほどの外食の機会をもっている。その事を楽しみにされている。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表に記入して排泄パターンを把握し支援している。一人ひとりの排泄パターンを把握して声かけトイレ誘導している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	15:30～17:30の間にゆっくり入浴していただき健康状態に問題なければ毎日入浴して頂いている	○	入浴を拒む方は様子を見て言葉掛けをし入れる時希望に添えるようする
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼間の生活リズムを整え夜の安眠に心掛けている。家族や医師と相談しながら必要時には薬剤等の使用など考えている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の生活に張りが持てるよう食器拭き洗濯物干したたみ、掃除調理配膳など役割を持ち外出行事など楽しみを図っている		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望によりお金を所持されご自分で管理されている。また、訪問販売を支援し自分で選んで購入して頂いている。</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物、散歩、外食、ドライブ、墓参り等積極的に行っている。</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>利用者の希望をお聞きし家族に相談したり個別で(喫茶店、墓参りなど)希望に添うようにしている。年一回 家族と一緒に日帰り旅行予定している。</p>		
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があればいつでも応じている。プライバシーが侵害されないよう配慮して丁寧に対応している。</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>日頃の生活ぶりをお伝えしていつでも気軽に訪問できるようリラックスした雰囲気の中で面会できるようにしている</p>		
(4)安心と安全を支える支援				
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>「身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為」で具体的に把握し取り組んでいる。職員は正しく理解している。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	三階が居室ということもあり玄関は鍵を掛けてあるがベランダは自由に出入りできる。日中できる限り穏やかに過ごせるよう心掛けている。花の水やりや洗濯干しなど、自由にやって頂いている。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に見守り出来る場所におり居室に居る方は時々声かけし様子を伺いに行くようにしている。常に見守り出来るようにして夜間についても時間ごとに巡回している。変化があった場合はすぐに管理者に連絡し安全を確保している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険なものは必要に応じて見守りで使用して頂いている。財布もご自分で保管されている方もいる。危険な物品をしっかり把握して使用する場合は職員と一緒にする。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書の作成回覧により再発防止に努めている。予測される危険を未然に防ぐため、職員全員で情報を共有している。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルがあり事務室に常時掲示してある。講義、講習に順次受けている。	○	訓練を定期的に行っていないので行ってきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回、定期的に避難訓練をして地域町内など密接に働きかけている。災害を想定した避難訓練をしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている	面会に来られた時には日頃の暮らし振りをお伝えし起こり得るリスクと対応を常に話し合っている。家族面談などで、本人にとって何が最善か家族と話し合いの場を持っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェックを記録し身体状態に変化が見られたときは受診している。変化は記録し申し送っている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報を職員全員がすぐに確認できる場所に保管し症状の変化があれば医師に報告している。医師からの指示にもとづき薬剤を把握している。薬セットは、職員一人ではなく複数で確認している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘に効く飲み物や果物等の摂取をこころ掛け運動をすすめている。毎日、そよ風の梅干体操をしている。排泄パターンの把握に努め記録を撮るようにしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後歯磨き義歯の洗浄剤による手入れ外出後の手洗いうがいを必ず行っている		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や 力、習慣に応じた支援をしている	食事量,水分量を毎日記録して一人ひとりの状態を把握し変化に注意している。個人チェック表に記入して栄養士の立てた献立にもとづき変化に注意している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	対応マニュアルに従い予防防止に努め、利用者様、職員も予防接種している。感染予防のため毎月の検便手洗い インフルエンザ予防接種など実施している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の予防の為安全な食材の使用と管理に努めている。毎日の買い物で新鮮な食材を使用している。調理用具は定期的に消毒をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関まわりにはボランティアにより花が植えられ花壇の手入れがされている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空間の中にお花や植木が置いてあり、季節を感じていただくようベランダに花野菜が植えてある。穏やかに生活できるよう気配りし、家庭的な雰囲気作りを心掛けている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者が集るリビングがあり自由に過ごして頂いて、それぞれ居心地の良い場所を確保されている。廊下の壁に行事の写真などを掲示して思い出を楽しんで頂いている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた家具や生活用品を居室に持ち込まれている。家族と相談しながら使い慣れた品、写真など持ってきて頂いている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	清潔と安全に気をつけ過ごしやすいよう配慮している。温度は利用者に伺いこまめに調節している。温度計、湿度計を設置し、換気に気を配り窓を開けたり換気扇をつけたりする。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下にはすべて手すりがつき安全に歩行が出来るよう配慮してある。トイレ、風呂場も手すりがあり安全に過ごされている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入り口ドアに表札をつけている トイレの目印は大きくわかりやすく書かれている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダまで洗濯物を干しに行かれたり、花の水やりなど楽しまれている。ベランダでバーベキューをしたり、すいか割りをして楽しまれている。季節の花、野菜など育てている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④利用者の1/4くらいが
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

「毎日の生活を大切に 笑顔がひとつでも増えますように」を合言葉に職員一同,力を合わせ頑張っています